イー・レンジャーのかわら版 (2026 年 12 月第 122 号)



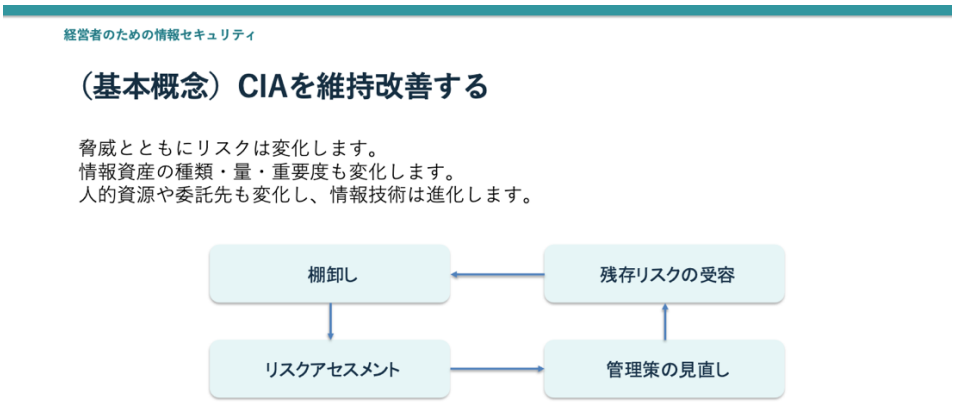
■　情報セキュリティ入門と棚卸しツール（無料配布）

情報漏洩、PHP の脆弱性、MS365 の大規模障害。情報セキュリティーのニュースが絶えません。このような状況を踏まえて、弊社 HP で**「経営者のための情報セキュリティ入門」**という資料を配布させていただきました。
「情報セキュリティーマネジメント」については ISO27001（ISMS）で規格化されていますが、専門的で難しいという印象があります。配布資料では、**基本的な考え方**や**情報資産の棚卸し**についてざっくりと理解していただく内容をなっています。



図：CIA の定義「経営者のための情報セキュリティ入門」より抜粋

「情報セキュリティ」は上の図にあるように**「CIA を維持すること」**と定義されます。
C は機密性、I は完全性、A は可用性の略です。情報漏洩は C、MS365 の大規模障害は A に関わるインシデントです。I が侵害されるケースとしては、データが改竄されるなどして不完全になってしまう場合などをさします。
セキュリティマネージメントとは、この **CIA を維持するための PDCA サイクル**のことです。



図：セキュリティマネジメント「経営者のための情報セキュリティ入門」より抜粋

セキュリティ対策というとウィルスソフトや UTM といった機器を連想してしまいますが、上の**PDCA サイクルで最も重要なのは「情報資産の棚卸し」**です。
言葉の通り**「どこにどんな情報があって、どれだけ重要なのか」**、**「事業を継続するために必要最低限の情報は何か」**を調べて評価することです。
この棚卸しの結果を踏まえて、それらの CIA を脅かす**「脅威」**、その脅威による**「リスク」**、そのリスクを軽減するための**「管理策」**を決める。ウィルスソフトの導入は「管理策」にあたります。
棚卸しの結果をもとに、**一般的な脅威、リスク、管理策を AI にリストアップさせるツール**も弊社 HP で公開いたしました。ぜひご活用ください。